

空き家と子どもの笑顔が 決めてに！

第19回目は、今年の3月に三重県から家族4人でUターンした大谷紗羅さん（昌平さんは三重県出身）にお話を伺いました。

▶Uターンしたきっかけは

もともと三重県で暮らしていく予定でしたが、実家の近くに空き家があると分かったことがきっかけで、Uターンについて考えるようになりました。

以前暮らしていた市では、待機児童が多いことや子どもたちが気軽に遊べる遊び場の少なさなどに不安があり、勝山の子育て環境の良さにとても魅力を感じていました。決め手になったのは、里帰り出産で長男を連れて帰った際に、勝山の自然の中

大谷 昌平さん（33歳）
紗羅さん（33歳）
奏太くん（3歳）・章人くん（10か月）
＝平泉寺町大渡＝



で笑顔いっぱい遊ぶ長男の姿でした。長男が年間パスポートを買って毎日通うくらい恐竜博物館を気に入ったことも大きな要因でした。

その他、空き家に住むために必要なリフォームや耐震診断に関する市の補助制度があり、とても助かっています。

▶Uターンして良かったことは

勝山での生活はまだ短いですが、長男が目に見えてたくましく成長しているのが、驚きと喜びを感じています。

その他、家の近くを散歩していると、ご近所の方から優しく声をかけていただけることや庭でワラビやフキノトウ、タケノ

コなどが採れ、山の幸を堪能できることがとても嬉しいです。

▶今後やりたいことは

空き家には、主人の念願だった薪ストーブを設置する予定です。子どもたちは、カブトムシやクワガタなどの虫取りや川で魚釣りを楽しみにしています。

都会ではできない生活を子どもたちと一緒に楽しんでいこうと思っています。

移住に関するお問い合わせは
商工観光・ふるさと創生課
(市役所2階)へ ☎88-8130

歩く息があがる、動悸がする、 それって心臓のせいかも？

福井勝山総合病院
総合内科部長 鈴木 将智

①息切れや動悸、胸の痛み
の原因は「心臓弁膜症」？
心臓弁膜症とは、心臓の中にある弁が正常に働かず心臓に大きな負担がかかった状態のことを言います。弁膜症になると、次第に動悸や息切れ、胸の痛みなどの症状が出てきます。これらの症状は数年～数十年かけてゆっくりと進行していくため、自分でも症状に気が付かない場合もあります。無症状でも心臓には大きな負担がかかっており、家族など身近な人が病気に気付いてあげることが大切です。

②加齢に伴う心臓弁膜症が増えています
昔はリウマチ熱の後遺症として心臓弁膜症になることが多かったのですが、医療の進歩によって現在は激減しています。一方、高齢化社会を迎え、加齢に伴う弁の変化を原因とするものが増加しています。

③高齢者で心臓弁膜症が増加！65歳を過ぎたら一度心臓の検査を受けましょう。
最初は心臓の一部分である弁だけの異常ですが、そのまま放置され進行すると心臓全体の機能低下を生じます。弁膜症は自然に治ることはありませんので、心臓の障害が進行する前の早期診断が非常に大切です。診断のためには胸部の聴診と心臓超音波検査が有効です。

④心臓弁膜症の治療方法には薬物治療と手術治療
まず、薬で心臓の負担を軽減する内科治療を行います。ただし、弁膜症が重症の場合、薬による効果には限界があり心臓の手術が必要になります。外科的治療では、弁の一部を切除、もしくは新たに人工の弁に交換し、機能を回復させます。年齢などの問題で通常の外科手術ができない場合は、カテーテルを用いて人工弁に交換する方法や弁の逆流を専用のクリップで止める方法もあります。



勝山公民館 展示コーナー

◆山腰艶子さんの写真展

真冬の庭先での一枚から、緑の木々がまぶしい大自然など様々な視点で、カメラに収めた「私の四季」をお楽しみください。
展示期間▶6月17日(月)～30日(日)

◆お出かけサロンの皆さんで折り紙壁飾り

折り紙の好きな皆さんと共同で作られた折り紙アート作品を展示いたします。
展示期間▶7月1日(月)～15日(月・祝)

閏勝山公民館（教育会館1階） ☎88-0800



行ってみよう 湯ったり勝山

～アンチエイジング講座 第1クール実施中!!～

第1クールでは、「健康カラオケ体操」と「ストレッチをしてリラクゼーション（テーマ別体操）」を行っています。（7月16日までの毎週火曜日※要申込）
ストレッチには、リラックス効果のほか、疲労回復、肩こり、腰痛の改善などの効果があります。皆さん楽しく参加されています。

申・閏 地域包括支援センター「やすらぎ」（すこやか内） ☎87-0900



人口の動き

	4月末現在	自然動態			社会動態			5月末現在	月間増減
		出生	死亡	計	転入	転出	計		
男	11,035人	4	16	12	18	13	5	11,028人	-7人
女	12,117人	4	18	14	25	27	-2	12,101人	-16人
合計	23,152人	8	34	26	43	40	3	23,129人	-23人
世帯数	7,964世帯							7,975世帯	11世帯

6月の納税

市・県民税▶第1期
納期限▶7月1日(月) □座振替▶6月26日(水)

交通事故発生状況

※高齢者＝65歳以上

件数内訳	令和元年末	前年比
総件数	166件	-28件
人身事故 (うち高齢者)	9件 (2)	+1件 (-1)
死者 (うち高齢者)	0人 (0)	0人 (±0)
傷者	9人	+1人
物損事故	157件	-29件

今回は牛ヶ谷区で採れた栗石と葉石を紹介いたします。
栗石と思われる史料が初めて見られるのは、『大野郡誌』の原本「野向村誌」である。そこに明治41年度調（工業に、石材として、数量一〇八〇、価額二〇五円」と記されている。
明治5年（1872）の「足羽郡地理誌」には、牛ヶ谷村の物産の一つに「柏石」が記されている。地元では葉の化石が出る石を「木葉石」といっており、栗石の採掘場所である石山、更にその奥の「アシ谷」には化石発掘場所がある。柏石がどちらを指すかは不明だが、牛ヶ谷では他地域では見られない石が早くから採掘されていた。
栗石の採掘の最盛期は大正末から昭和10年代（1935～44）初め頃と考えられ、打刃物で有名な武生に向けて砥石として出荷された。栗石は硬さも程々で細工がしやすく熱にも強いいため、バンドコ（昔のコタツ）や流し（台所の水溜）に利用された。村内ではこれを利用した墓石も何例が見られる。竜谷神社の石段はこの石を利用して築かれた。
古老の話によると、小学生だった昭



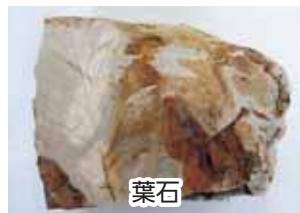
地域文化を掘り起こそう

27

市史編纂室 山田 雄造



栗石の露頭面



葉石

和11～12年頃、村の男衆・女衆が賃稼ぎとして石を背負い深谷から滝波川、長尾山を通り勝山駅まで運んだ。男は午前3回、午後2回、女は午前2回、午後1回運んだという。その背景には大正3年（1914）の越前電気鉄道の開通があったと考えられる。
『高尾の息吹』によると勝山から石工が来て手作業で採掘していた。大石に掘込みをして何本もの矢を差し、大ハンマーで打ち割り18～19貫に刻んだ。運ぶのは村人で、当時は直接村の上手まで運べた。しかし、現在は県立クレール射撃場ができ、栗石の採れる石山には石山林道を通って行かなければならない。
露頭面の所々に油石（丸石）が顔を出している。油石は火打ち石として用いられた。なお、砥石の採掘は幕末期に勝山藩が中野侯で行っていた。